

※黎明(れいめい)：明け方、夜明けの意

特集：看護ケア外来の紹介  
ご協力をお願い：安全対策、ペットボトルキャップ回収運動



院長と副院長、今年度新規採用職員

## トピック

院長 鈴木 聡



平成最後の年、そして新元号「令和」まであと1か月となった2019年4月1日、鶴岡市立荘内病院第19代院長に就任いたしました鈴木聡です。よろしくお願ひします。私の使命は、診療圏である鶴岡市、三川町、庄内町で生活する約15万人の地域住民の命と健康をまもり、かつ、当院職員約820名の生活を守ることだと思っています。最初に自己紹介です。私の生まれは、新潟県北蒲原郡中条町(現在の胎内市)で、地元の新潟県立中条高校普通科を卒業し、新潟大学医学部に入学しました。卒業後は外科医を目指し、新潟大学第二外科(消化器・一般外科学)教室に入局。平成9年10月から荘内病院外科に勤務し、今年で22年目を迎えます。これといった趣味はないのですが、中学校時代から野球を続けており、高校時代のブランクを除き、大学時代のクラブ活動、そして医師になってからの草野球などで体を動かしながら仲間と野球を楽しんでおります。中学時代に新潟県大会で優勝した経験は思い出の一つです。

さて、より良き医療は、医療を提供する側と、それを必要とする地域住民との協力、意思の疎通、信頼感が無ければ決して生まれません。荘内病院は、医療が抱える様々な問題を気軽に話しあえる場をたくさん作って、地域の皆さんと意見交換しながら課題を解決し、引き続き基幹病院として地域医療を担っていく覚悟です。

特 集

# 看護ケア外来の紹介

患者さんの症状や悩みに寄り添った質の高い医療・看護を実践しています

フットケア外来



「足潰瘍」、これは「あしかいよう」と読みます。皮膚や粘膜の一部が傷ついてえぐれてしまう状態です。「足壊疽」、これは「あしえそ」と読みます。組織が腐ってしまうことです。あまり気持ちのいい話ではありませんが、糖尿病が影に隠れて起こることが多いのです。糖尿病の合併症「し・め・じ」Ⅱ「神経・眼・腎臓」と血管変化が静かに進行し、足の傷に気付きにくく悪化しやすい傾向があります。「3日前から水ぶくれで」とご相談いただいた時点ですでに壊疽になっていることもあります。

そこで登場したのがフットケア外来です。医師の診療時間だけでは靴下を脱いで足を診るまで至り

づらいため、専門の看護師が対応する外来です。日頃から「足を診ることの大切さ」を知り、正しい管理を行っていただくことを目的とし、平成24年からスタートしました。

では、フットケア外来を体験していただきましょう。

まず、診察室にお入りいただいたら、靴下を脱いで足を診せていただきます。感じ方(知覚神経・深部神経のチェック)や血の流れの状態を、簡単な道具と超音波で調べます(図1)。疣(いぼ)や胼胝(たこ)ができていないか、靴底の減り方も見て、靴の下敷きの調整や作製、正しい靴の履き方・選び方をお話します。爪も重要で、巻き爪ケアや水虫の治療が必要な方も多くみられます。正しい爪の切り方と併せ、足の洗い方も学びましょう。もちろん、糖尿病との長い付き合い方についてのお悩みや愚痴は大いにお話しく下さい。一緒に考えましょう。

あら、あつという間に、30分経ってしまいました。「私もフットケア外来に行こうかしら」と思われた方は、以下をご確認の上受診

ください。3割負担の方は510円、1割負担の方は170円で受診可能です。

## 〈対象となる方〉

糖尿病と診断され荘内病院内科に通院中の患者さんで、以下のいずれかを満たしている場合

- ①主治医が必要と判断し、患者さんが受診を了解した場合
- ②患者さん自身が希望し、主治医も必要と認めた場合

## 〈受診を希望される場合の連絡先〉

(平日 8時30分～17時)

内科外来までご相談ください

TEL 02351261511

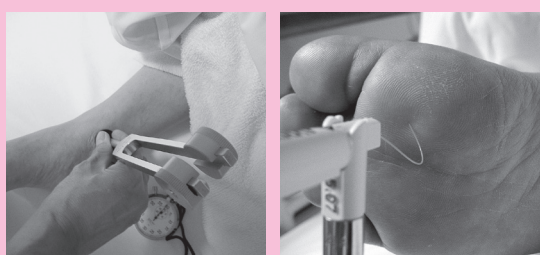


図1：神経のチェック

## リンパマッサージ外来

リンパ浮腫とは、リンパの流れに不具合が生じ、リンパ液が滞る状態のことです。腕や足等がむくみ、重苦しさや動かしづらさ等の症状が見られます。

リンパ浮腫を発症すると完治は難しいのですが、早くから正しいケアを行うことで、日常生活の過ごしやすさを取り戻すことができます。

そこで当院では、平成20年にリンパマッサージ外来を開設し、リンパ浮腫を抱えている患者さんの苦痛や悩みに対応しています。リンパ浮腫の治療やケアは、MLAJ（日本リンパドレナージ協会）が主催する研修で手技を取得し、医療リンパドレナージセラピスト（MLD）の資格を取得した2名の看護師がセラピストとして担当しています。

通院している患者さんのほとんどから「不安や心配なとき相談できる」との声が聞かれ、安心感に繋がっていると感じています。今後も、リンパ浮腫で悩んでいる患

者さんに少しでも手助けできるように、活動を継続したいと考えています。

### 〈対象となる方〉

・ 庄内病院に通院中の患者さんで、主治医にリンパ浮腫の診断を受け、リンパマッサージの許可を得ている場合

### 〈受診を希望される場合の連絡先〉

（平日 8時30分～17時）

地域医療連携室

TEL 0235-26-5111



## 産科外来

お産後の母乳栄養は順調ですか？ 出産後2週間、退院後1週間頃は、育児や母乳栄養に対する悩み事が多くなる時期です。

当院は、母子育児支援ケアの充実を図るために、産後2週間健診や産褥乳房外来を行っています。当院で分娩していない方でも、当院の乳房ケアの受診が可能です。

### 〈こんな悩みはありませんか？〉

- 乳房が硬い・赤い
- 乳頭が切れた
- 乳頭に白い塊が出てきた
- 発熱や寒気がある
- 赤ちゃんが母乳をうまく吸えない
- 育児不安がある
- 卒乳ケア



### 〈受診を希望される場合の連絡先〉

（平日 8時30分～17時）

産婦人科外来

TEL 0235-26-5111

（夜間・休日）

4階西入院棟

TEL 0235-26-5142

※乳房マッサージをご希望の場合、予約前に電話で乳房状態を確認させていただきます。  
※症状や状態によっては、予約外でも対応いたします。

### 〈外来日程〉

時間/曜日	産褥乳房外来 初回2,570円 再診1,160円		産後2週間 健診
	火	水	木
9:00		○	○
10:00		○	○
11:00		○	○
13:00	○		○
14:00	○		○
15:00	○	○	○



# ご協力よろしくお願ひします

## 「患者さんと共に取り組む安全対策」について

医療安全管理室では、病院職員全員が協力し合い、皆様に安全な医療を提供できるような体制作りに取り組んでいます。また安全な医療の提供のためには、患者さんと情報を共有することも大切な取り組みのひとつです。そこで当院での「患者さんと共に取り組む安全対策」の紹介を兼ねて、皆様へご協力をお願いします。

- ① 診察や検査の前にお名前をお聞きしますので名乗っていただきます。  
医療者だけで確認するよりも誤りに気付きやすくなります。

- ② 入院中の履物は履き慣れた靴をお勧めします。病状が回復するまでは歩行が不安定になり、更に慣れない環境で転倒の危険が高くなります。スリッパはすべりやすく危険です。入院中の履物に迷うときには、看護師までご相談ください。



- ③ 検査結果の伝え忘れを防ぐため、様々な仕組みをして工夫しておりますが、可能な限り検査結果についてお尋ねください。  
患者さん側から質問してもらうことで更に伝え忘れを防ぐことができます。



## ワクチンで助かる小さな命を救いたい！ 「ペットボトルキャップ回収運動」について

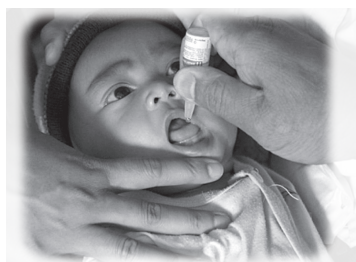
世の中にはたくさんの感染症が存在します。多くは自然に治るいわゆる「かぜ」ですが、中には重い後遺症を残し、死亡の原因になることもあります。このような感染症のいくつかはワクチンで予防することができます。「ワクチンで予防できる感染症はワクチン接種で予防する」。これが、現代の感染症対策の基本です。

しかし、開発途上国では、ワクチンさえあれば助かる小さな命が、感染症（ポリオ・はしか・結核・ジフテリア・百日咳・破傷風など）によって1日4,000人も失われています。

荘内病院感染対策チームでは、ワクチンで助かる小さな命を救いたい、そんな思いから、世界の子どもたちに対するワクチン支援事業「ペットボトルエコキャップ回収運動」への参加を始めました。その結果、今年2月からの約3ヶ月間で、ポリオワクチン55本に相当する約50,000個が集まり、関係機関に寄付することができました。

この活動を理解し協力して下さった患者さま、ご家族の方、回収業者、地域の皆様に、心より感謝いたします。これからも継続して活動して参りますので、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

最後に、自分自身そして大切な人たちを感染症から守るため、「予防接種」を行いましょう！



ワクチン接種の様子  
<http://www.jcv-jp.org/activity>



各階に容器を設置しております。  
ご協力をお願いします。

エコキャップ専用容器